

2025年度 社会福祉法人本巣市社会福祉協議会事業報告

[基 本 理 念]

ふれあい、つながり、支え合う 安心とやさしさに包まれたまち もとす

[事業報告の総評]

地域包括支援センターを中心とした福祉総合相談窓口では、分野・年齢・内容を問わず、福祉に関する困りごとの相談者は年々増加傾向にあり、家庭環境の多様化に伴う介護の問題や物価の上昇に伴う生活困窮者の対応など、社会福祉協議会が抱える事案は、多様化しています。

重層的支援体制整備事業を中心とした一体的・継続的に提供する包括的な地域福祉の仕組みや世代、属性にとらわれない地域づくりが、この先、非常に重要となることを実感した一年となりました。

[重点計画取り組みの成果]

1 地域共生社会の構築と重層的支援体制整備

生活課題を抱えた人やその家族の総合相談窓口である市役所福祉総合相談室で受けた複合化・複雑化したケースなど、市担当部局や関係機関との連携により支援できる体制を整備しました。また、幅広い相談に対応するためには地域の取り組み、強みを活用・強化することが必要であるため、地域とのネットワークの構築を推進するとともに地域共生社会の実現に努めました。

2 ボランティア及び市民活動の推進

地域住民によるボランティアの活性化を図るため、市教育委員会との連携によるボランティア交流会を初開催した結果、ボランティア同士の新たなつながりにより、ボランティア活動の幅が広がりました。また、小学生、中学生を対象としたボランティア情報誌を発行し、地域で自分ができることなどを考えるきっかけづくりを支援しました。

3 災害対応を目的とした事業の実施

災害時に備え、市との連携による災害・減災研修会を年2回開催しました。自治会長をはじめ、民生委員・児童委員、防災士や地域の福祉事業所等からの参加があり、石川県穴水町の事例から、メディアでは放映されていない被災地の現状を学び、災害への意識、地域づくりの必要性など、参加者全員の共通理解を図りました。

4 介護保険サービスの充実と安定した経営

訪問介護事業及び居宅介護支援事業の経営状況を注視しながら、住み慣れた場所で安心して暮らせるよう市民への介護保険サービスを提供しました。また、居宅介護支援事業では、職員一人が作成するケアプラン件数を見直すなど効率化を図り、採算性の確保に努めました。

5 財政基盤の整備と事務局体制の強化

高い公益性を有する社会福祉法人であるため、組織体制の強化と法令遵守の徹底を図りながら透明性の高い組織運営に努めました。また、限られた自己財源を有効活用するため、適正な職員配置と経費節減に努めました。

【一 般 福 祉 事 業】

事業名	1 法人運営事業
事業内容及び成果	(1) 組織体制の充実 ①安定的かつ適正な法人運営のため、理事会・評議員会等を開催しました。 ・理事会の開催（年5回） ・評議員会の開催（年3回） ・評議員選任・解任委員会の開催（年2回） ②健全な法人運営のため、監事による事業監査・会計監査を実施しました。 ・監査会の開催（年2回） ③情報共有、課題解決、意思決定のため、社協内部会議を開催しました。 ・事務連絡調整会議（毎月1回） ・各担当者会議（随時） (2) 財政基盤の強化 ①一般会費、賛助会費の加入促進と寄附金を募集しました。 ・一般会費 8, 878世帯（43世帯減） 真正 3,642世帯（42世帯減） 糸貫 2,718世帯（80世帯減） 本巣 2,043世帯（90世帯増） 根尾 475世帯（11世帯減） ・賛助会費 117社（増減なし） 真正 39社（増減なし） 糸貫 44社（増減なし） 本巣 19社（増減なし） 根尾 9社（増減なし） 市外 6社（増減なし） ②自主財源の確保を目的に広報なごみの有料広告を募集し、広告掲載料の収入増に努めました。 ・広告掲載登録：2社 ③寄附金、寄附物品 ・寄付金：総額384, 315円（個人：3名・団体：5団体） ・寄附物品：タオル、玄米、非常食、飲料、衣料、自転車等 （個人：延べ10件・団体：延べ21件） (3) 情報提供 ①広報なごみを年4回発行しました。 ②ホームページやSNS（フェイスブック・Instagram）を活用し、随時リアルタイムな情報提供に努めました。
事業名	2 地域福祉推進事業
事業内容及び成果	(1) 福祉車輛貸出事業 一般の交通機関を利用することなど外出することが困難な市民に対し、福祉車輛を貸し出しました。 ・普通車1台、軽自動車3台（年間延べ210件利用） (2) 福祉用具貸出事業 電動ベッドや車椅子等の福祉用具を貸し出しました。 ・貸出用具 電動ベッド（継続利用者）7件 車椅子62件、歩行器4件 (3) 高額療養費貸付事業 国民健康保険被保険者にかかる入院又は通院による高額療養費の貸し付けはありませんでした。

(4) ボランティアセンター事業

①ボランティア連絡会

市教育委員会との連携によるボランティア交流会を開催したところ、新たなつながりにより、活動の幅が広がるきっかけとなりました。

・参加者：40名

②ボランティア情報誌

小学5年生、中学2年生を対象としたボランティア情報誌を発行し、自分ができるボランティアみつけのきっかけづくりを支援しました。

③くらしつなぎあい事業

高齢者や障がい者を対象に、日常生活上のちょっとした困りごとを支援するくらしつなぎあい事業を実施しました。また、年1回の情報交換会を開催し、情報共有を図るとともに広報活動やボランティアへの声掛けを行いました。

区分	2025年度	2024年度
新規	23件	26件
実利用者	15件	15件
実働サポーター	17件	11件
実施件数	延べ316件	延べ234件

④ボランティア登録や団体に対する支援を行いました。

⑤ボランティア活動に関する情報を提供しました。

(5) ボランティアスクール

手話・点字スクールや施設体験会を開催しました。

・参加者：16名（小学生4名、中学生12名）

・施設：市内事業所5施設

(6) 買い物支援事業

高齢等で自動車の運転ができないなど、買い物に不便を感じる市民に対し、買い物支援サービスを実施しました。また、運営ボランティア・運転手などが集まる情報交換会を開催しました。

自治会名		2025年度		2024年度	
		年間回数	延べ人数	年間回数	延べ人数
1	高砂町	23回	95名	24回	109名
2	神明	18回	25名	24回	57名
3	宝珠ハイツ	24回	197名	24回	161名
4	仏生寺	19回	32名	15回	25名
5	根尾中・越卒	11回	58名	10回	33名
6	木知原	10回	53名	9回	34名
7	北野・春近	12回	22名	10回	12名
合計		117回	482名	116回	431名

(7) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支えることを目的に生活福祉資金の相談支援を行いました。

(8) 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

高齢や障がいなどで金銭管理や各種手続きなど日常生活に不安を感じる人に対し、生活支援員が金銭管理や文書確認、届出事務の代行等を支援しました。

- ①利用者：糸貫4名、本巢3名
- ②生活支援員：2名
- ③相談及び訪問件数：年間延べ164件

(9) 生活困窮者小口資金貸付事業

ライフラインの復旧や就労支援の際に発生する費用などの一時的な貸し付けはありませんでした。

(10) 食料支援事業（フードバンク）

広報なごみやチラシにより、年間を通じて家庭や企業、店舗などで不要な食品を募り、その食品を主に生活困窮世帯などの食料支援を必要とする人へ配布しました。菓子類などは、子ども支援事業の一環として地域の子ども食堂へ届けています。また、新たに市と連携し、市役所本庁舎にフードポストを設置しました。

- ・玄米188kg：市民5名、その他食料：市民1名、企業3社、1幼稚園
- ・生活困窮者10名（延15回）へ配布

(11) 地域のネットワークづくり事業

市内の福祉事業所・企業・ボランティア団体と継続的なつながりを持ち、地域の現状、課題を共有するとともに、それぞれの立場で地域のチカラとなり、地域貢献や地域を支えていくネットワークを構築しました。また、法人・企業連絡会を開催し、法人連携の必要性を伝え、地域貢献として取り組むきっかけづくりを支援しました。

- ・参加者：延べ46事業所等

(12) 地域座談会

地域の生活課題や福祉課題などの問題解決と本会事業のPRを目的に、自治会やふれあいサロン、老人クラブ等の会合の場へ17回職員が出向きました。また、困りごとや介護が必要な時にどこへ相談に行けば良いかなど、情報提供や周知を図ることができました。

(13) フラットサロン事業（ふらっとチャレンジ事業）

閉じこもりがちにならないよう集いの場を提供し、ノルディックウォークや麻雀などの各種講座を通じて居場所、仲間づくりのきっかけを支援しました。

内容	年間回数	延べ人数
ノルディックウォーク	10回	80名
麻雀	24回	330名

(14) ちょこっとさーくる

高齢者の居場所づくりが困難な地域へ職員が出向き、居場所づくりのきっかけを支援しました。3か所のうち1か所はサロンの新規立ち上げにつながり、1か所は住民の自主的な居場所として定着しています。

実施数	3か所（軽海、北屋井、能郷・長島）
延べ回数	17回
延べ人数	149名

(15) ふくしふれあい事業

市内の行事やイベントに参加し、福祉に関する情報を提供するとともに本会事業をPRしました。

- ・参加事業：サマーフェスタ、もとす織部祭り

事業名	3 共同募金配分事業																																																															
事業内容及び成果	(1) ふれあいいいきサロン事業 円滑なサロン事業の運営を支援するため、助成金を支給するとともに職員がサロンへ出向き、レクリエーションや生活状況の確認などを行いながら、高齢者等の生きがいを支援しました。 <table><tr><th rowspan="2">区分</th><th colspan="3">2025年度</th><th colspan="3">2024年度</th></tr><tr><th>サロン数</th><th>延べ回数</th><th>参加延べ人数</th><th>サロン数</th><th>延べ回数</th><th>参加延べ人数</th></tr><tr><td>真正</td><td>19</td><td rowspan="4">383回</td><td rowspan="4">5,771名</td><td>18</td><td rowspan="4">371回</td><td rowspan="4">5,596名</td></tr><tr><td>糸貫</td><td>15</td><td>16</td></tr><tr><td>本巣</td><td>7</td><td>7</td></tr><tr><td>根尾</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>計</td><td>43</td><td></td><td></td><td>44</td><td></td><td></td></tr></table> (2) 高齢者ぬくもり訪問事業 75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に、民生委員やボランティアが自宅を訪れ、日用品等を配布するとともに安否確認と相談に応じる見守り訪問を行いました。 ・訪問：年5回、延べ1,931名 <table><tr><th>区分</th><th>2025年度</th><th>2024年度</th></tr><tr><td>真正</td><td>543名</td><td>602名</td></tr><tr><td>糸貫</td><td>564名</td><td>599名</td></tr><tr><td>本巣</td><td>504名</td><td>516名</td></tr><tr><td>根尾</td><td>320名</td><td>359名</td></tr><tr><td>計</td><td>1,931名</td><td>2,076名</td></tr></table> (3) 災害・減災研修会 ①市と連携し、災害に対する心構えや災害ボランティア等に関する研修会を開催しました。 <table><tr><th>開催日</th><th>研修テーマ</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>6/14 (土)</td><td>災害は必ず来る。 その時のために防災士として今何をすべきか。</td><td>78名</td></tr><tr><td>2/22 (日)</td><td>災害から1人ひとりの命と尊厳と活力を守るために ～令和6年能登半島地震石川県穴水町の事例から～</td><td>111名</td></tr></table> ②災害時の支援活動や地域防災への理解を深めることを目的に県が毎年開催する「災害ボランティアシンポジウム in 岐阜」へ参加し、能登半島地震後、本会が継続的に取り組んだ被災地への支援内容をパネリストとして発表するとともに、他の自治体ボランティアが取り組んだ活動内容を学びました。 ③他の自治体が実施する災害ボランティアセンター立ち上げ訓練に参加し、自治体連携と災害ボランティアセンター設置の具体例を学びました。 (4) クリスマス会の開催 障がい者就労支援センターみつば、杉の子、はたるの利用者や保護者、運営協力者が一堂に会し、仕事で頑張ったことや日頃の感謝の気持ちを伝え、1年を振り返りながら利用者同士の仲間意識の向上と交流を図ることを目的に、3施設合同のクリスマス会を開催しました。	区分	2025年度			2024年度			サロン数	延べ回数	参加延べ人数	サロン数	延べ回数	参加延べ人数	真正	19	383回	5,771名	18	371回	5,596名	糸貫	15	16	本巣	7	7	根尾	2	3	計	43			44			区分	2025年度	2024年度	真正	543名	602名	糸貫	564名	599名	本巣	504名	516名	根尾	320名	359名	計	1,931名	2,076名	開催日	研修テーマ	参加人数	6/14 (土)	災害は必ず来る。 その時のために防災士として今何をすべきか。	78名	2/22 (日)	災害から1人ひとりの命と尊厳と活力を守るために ～令和6年能登半島地震石川県穴水町の事例から～	111名
区分	2025年度			2024年度																																																												
	サロン数	延べ回数	参加延べ人数	サロン数	延べ回数	参加延べ人数																																																										
真正	19	383回	5,771名	18	371回	5,596名																																																										
糸貫	15			16																																																												
本巣	7			7																																																												
根尾	2			3																																																												
計	43			44																																																												
区分	2025年度	2024年度																																																														
真正	543名	602名																																																														
糸貫	564名	599名																																																														
本巣	504名	516名																																																														
根尾	320名	359名																																																														
計	1,931名	2,076名																																																														
開催日	研修テーマ	参加人数																																																														
6/14 (土)	災害は必ず来る。 その時のために防災士として今何をすべきか。	78名																																																														
2/22 (日)	災害から1人ひとりの命と尊厳と活力を守るために ～令和6年能登半島地震石川県穴水町の事例から～	111名																																																														

	・開催日：１２月１９日、会場：糸貫ぬくもりの里 ・参加者：５３名（利用者２８名、保護者１７名、運営協力者８名） (５) 福祉協力校への助成 ①市内の８幼稚園、７小学校、３中学校、１義務教育学校を福祉協力校に指定し、福祉に関する事業や授業にかかる費用を助成しました。 ②学校教育の一環で講話や体験を通じて、高齢や障がいに対する理解を深め、思いやりや共に生きる力を育む福祉体験教育として、１小学校での福祉講話、２小学校での高齢者疑似や車いすの体験活動を行いました。 (６) 本巣市社会福祉大会 「つなげよう ひろげよう とともに生きる地域を目指して」をテーマに、いつまでも健康でいきいきと生活できる福祉のまちづくりを目指し、３年に一度の社会福祉大会を開催しました。 ・開催日：１１月２９日、会場：糸貫ぬくもりの里、参加者：２７９名 ・講演：講師（歌手）澤田知可子氏、演題「心と体にやさしい歌薬を」 (７) 共同募金運動 助け合いの精神と福祉への参加を呼びかけ、赤い羽根共同募金と歳末たすけあい募金運動を行いました。 ①運動期間：１０月１日～１２月３１日 ②戸別募金：赤い羽根９，１１９世帯、歳末助け合い９，０２６世帯 ③法人募金：法人企業９８社 ④街頭募金：１０月１１日 モレラ岐阜で行いました。 中学生５名がボランティアとして参加しました。 ⑤職域募金：市内個人商店や公共施設等に１７か所募金箱を設置 ⑥イベント募金：もとし織部祭り、社会福祉大会、募金額１３，６００円
事業名	４ 本巣市在宅福祉事業
事業内容及び成果	(１) ミニデイサービス事業 ６０歳以上の市民を対象に老人福祉センターの入浴施設を無料で開放し、憩いの場として提供しました。 ①真正老人福祉センター：毎週月曜日・木曜日 ・実施日数：１０１日、利用者：延べ２，０８６名（１日平均２０．６名） ②本巣老人福祉センター：毎週火曜日・金曜日 ・実施日数：１００日、利用者：延べ６３９名（１日平均６．３名） (２) 障害者社会参加促進事業 市内の障がい者就労継続支援Ｂ型事業所利用者が誰でも参加できる、ふれあい交流運動会を開催し、各競技を通じて相互の親睦と交流を図りました。 ・開催日：１０月２４日、会場：真正体育センター ・参加者：６３名（市内５事業所）
事業名	５ 生活困窮者自立支援事業
事業内容及び成果	生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを目指し、自立に向けて包括的かつ継続的に支援しました。家計改善支援事業では、生活費の状況を適切に把握し、家計改善へ導くとともにＬＩＮＥを活用し、相談者が気軽に相談できる環境づくりに努めました。 ・相談支援件数：延べ１，１２７件、実人数：新規４６名、継続５６名

事業名	6 介護予防・日常生活支援総合事業																																													
事業内容及び成果	市内在住の高齢者が住み慣れた地域で元気に自立した生活を続けられるよう、要介護状態になることを防ぐため、転倒予防教室やキラリ元気アップ教室を開催し、口腔ケア、音楽療法、認知症予防、閉じこもり予防など多角的な介護予防に取り組みました。 (1) 一般介護予防事業 ①介護予防サポーター養成講座の開催とサポーターズクラブの運営支援 地域で高齢者の介護予防を応援するボランティアを養成するとともに、地域や本会が実施する介護予防事業の補助スタッフとしてのボランティア活動を通じて、介護予防の知識技術を習得し、さらには地域でのリーダー的役割を担い活動できる人材・組織の育成を支援しました。 クラブ員：41名 <table><tr><td>区分</td><td>回数</td><td>参加延べ人数</td></tr><tr><td>介護予防サポーター養成講座</td><td>4回</td><td>34名</td></tr><tr><td>介護予防サポーターズクラブ勉強会</td><td>12回</td><td>200名</td></tr></table> ②転倒予防教室の開催 市内在住65歳以上の高齢者を対象に、介護予防サポーター養成講座を修了したサポーターズクラブの協力を得ながら、転倒予防教室を開催しました。 <table><tr><td>区分</td><td>2025年度参加延べ人数</td><td>2024年度参加延べ人数</td></tr><tr><td>真正</td><td>702名</td><td>539名</td></tr><tr><td>糸貫</td><td>436名</td><td>418名</td></tr><tr><td>本巣</td><td>370名</td><td>291名</td></tr><tr><td>根尾</td><td>158名</td><td>167名</td></tr><tr><td>計</td><td>1,666名</td><td>1,415名</td></tr></table> (2) 介護予防・生活支援サービス事業 市内在住の65歳以上で基本チェックリストに該当した事業対象者や要支援1、2の認定者で、介護保険の通所サービスを利用していない市民を対象に、各地域で週1回の介護予防教室（キラリ元気アップ教室）を開催しました。 <table><tr><td>区分</td><td>2025年度参加延べ人数</td><td>2024年度参加延べ人数</td></tr><tr><td>真正</td><td>1,234名</td><td>1,200名</td></tr><tr><td>糸貫</td><td>528名</td><td>538名</td></tr><tr><td>本巣</td><td>396名</td><td>435名</td></tr><tr><td>根尾</td><td>154名</td><td>194名</td></tr><tr><td>計</td><td>2,312名</td><td>2,367名</td></tr></table>	区分	回数	参加延べ人数	介護予防サポーター養成講座	4回	34名	介護予防サポーターズクラブ勉強会	12回	200名	区分	2025年度参加延べ人数	2024年度参加延べ人数	真正	702名	539名	糸貫	436名	418名	本巣	370名	291名	根尾	158名	167名	計	1,666名	1,415名	区分	2025年度参加延べ人数	2024年度参加延べ人数	真正	1,234名	1,200名	糸貫	528名	538名	本巣	396名	435名	根尾	154名	194名	計	2,312名	2,367名
区分	回数	参加延べ人数																																												
介護予防サポーター養成講座	4回	34名																																												
介護予防サポーターズクラブ勉強会	12回	200名																																												
区分	2025年度参加延べ人数	2024年度参加延べ人数																																												
真正	702名	539名																																												
糸貫	436名	418名																																												
本巣	370名	291名																																												
根尾	158名	167名																																												
計	1,666名	1,415名																																												
区分	2025年度参加延べ人数	2024年度参加延べ人数																																												
真正	1,234名	1,200名																																												
糸貫	528名	538名																																												
本巣	396名	435名																																												
根尾	154名	194名																																												
計	2,312名	2,367名																																												
事業名	7 ふれあいホーム事業																																													
事業内容及び成果	障がい者の自立生活を支援するため、世話人の支援のもと、ふれあいホーム（賃貸住宅）で宿泊し、日常生活、共同生活訓練を行いました。 ・実施回数：年間60回、利用者：延べ113名（男性8名・女性3名）																																													
事業名	8 個別避難計画作成事業																																													
事業内容及び成果	(1) 市が個別避難計画の作成同意を得た人を対象に、職員が自宅訪問し、緊急時の連絡先や避難時に必要な配慮事項などを聞き取り、個別の避難計画書を作成しました。																																													

	<table><tr><td>真正</td><td>糸貫</td><td>本巣</td><td>根尾</td><td>計</td></tr><tr><td>33名</td><td>37名</td><td>27名</td><td>8名</td><td>105名</td></tr></table> (2) 個別避難計画に合わせて、市内在住の75歳以上のひとり暮らしの高齢者を定期的に見守り訪問しました。 <table><tr><td>区分</td><td>真正</td><td>糸貫</td><td>本巣</td><td>根尾</td><td>計</td></tr><tr><td>実人数</td><td>12名</td><td>16名</td><td>23名</td><td>16名</td><td>67名</td></tr><tr><td>延人数</td><td>54名</td><td>96名</td><td>120名</td><td>73名</td><td>343名</td></tr></table>	真正	糸貫	本巣	根尾	計	33名	37名	27名	8名	105名	区分	真正	糸貫	本巣	根尾	計	実人数	12名	16名	23名	16名	67名	延人数	54名	96名	120名	73名	343名
真正	糸貫	本巣	根尾	計																									
33名	37名	27名	8名	105名																									
区分	真正	糸貫	本巣	根尾	計																								
実人数	12名	16名	23名	16名	67名																								
延人数	54名	96名	120名	73名	343名																								
事業名	9 生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター事業）																												
事業内容及び成果	(1) 第2層協議体 真正・糸貫・本巣・根尾の各4地域で地域住民が集まり、地域課題の把握や解決策、地域づくりに向けた住民参加型会議を毎月1回開催しました。また、12月には各地域の協議体メンバーが会場に集まる全体会を開催し、各地域で開催された個別の協議体の取り組み事例の共有や協議体の役割などを振り返るなど、ネットワークの構築と参加者同士の交流を図りました。 <table><tr><td>区分</td><td>開催回数</td><td>参加延べ人数</td></tr><tr><td>真正</td><td>12回</td><td>92名</td></tr><tr><td>糸貫</td><td>11回</td><td>95名</td></tr><tr><td>本巣</td><td>11回</td><td>93名</td></tr><tr><td>根尾</td><td>11回</td><td>84名</td></tr><tr><td>全体会</td><td>1回</td><td>33名</td></tr></table> (2) 集いの場等の代表者交流会 各地域のカフェや集いの場で活躍する介護予防サポーターやボランティアの活動報告とネットワークの構築を目的に代表者交流会を開催し、8団体14名の参加がありました。	区分	開催回数	参加延べ人数	真正	12回	92名	糸貫	11回	95名	本巣	11回	93名	根尾	11回	84名	全体会	1回	33名										
区分	開催回数	参加延べ人数																											
真正	12回	92名																											
糸貫	11回	95名																											
本巣	11回	93名																											
根尾	11回	84名																											
全体会	1回	33名																											
事業名	10 認知症総合支援事業																												
事業内容及び成果	(1) 認知症初期集中支援推進事業 認知症になっても出来る限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、認知症サポート専門医と保健師・看護師・社会福祉士などの医療・介護の専門職で構成するチーム員などが早期診断・早期対応に向けた相談支援を行いました。 <table><tr><td>相談内容・形態：延べ件数</td><td>電話</td><td>来所</td><td>訪問</td><td>他</td><td>合計</td></tr><tr><td>認知症に関する相談</td><td>82件</td><td>74件</td><td>18件</td><td>2件</td><td>176件</td></tr><tr><td>うちチーム員対応</td><td>17件</td><td>20件</td><td>13件</td><td>0件</td><td>50件</td></tr></table> (2) 認知症地域支援・ケア向上事業 ①認知症サポーター養成講座 市内小学校、義務教育学校、介護予防サポーター養成講座の参加者や自治会など、幅広い世代を対象に認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の理解を深めました。 <table><tr><td>区分</td><td>2025年度</td><td>2024年度</td></tr><tr><td>開催回数</td><td>12回</td><td>13回</td></tr><tr><td>参加延べ人数</td><td>341名</td><td>433名</td></tr></table>	相談内容・形態：延べ件数	電話	来所	訪問	他	合計	認知症に関する相談	82件	74件	18件	2件	176件	うちチーム員対応	17件	20件	13件	0件	50件	区分	2025年度	2024年度	開催回数	12回	13回	参加延べ人数	341名	433名	
相談内容・形態：延べ件数	電話	来所	訪問	他	合計																								
認知症に関する相談	82件	74件	18件	2件	176件																								
うちチーム員対応	17件	20件	13件	0件	50件																								
区分	2025年度	2024年度																											
開催回数	12回	13回																											
参加延べ人数	341名	433名																											

②認知症カフェ

認知症の本人や家族、地域住民など、認知症に関心のある誰もが気軽に集まり、仲間づくりや情報を交換する住民主体のカフェへ職員が出向き、相談支援を行いました。

区分	名称	開催回数	参加延べ人数
糸貫	わいわいカフェ	12回	168名
	ぐるぐるカフェ	11回	140名
本巢	ささゆりカフェ	6回	104名
根尾	おきがるカフェ	4回	97名

③家族介護教室

認知症家族の会との座談会を2回開催し、延べ22名の参加がありました。参加者同士が悩みを話し合い共感することで、参加者の精神的負担軽減につながりました。

④オレンジリング啓発事業

福祉協力校のうち、3小学校（土貴野小6年生、外山小5・6年生、弾正小6年生）からポスターや標語の参加がありました。また、そのポスターや標語を社会福祉大会で展示し、認知症に関する普及啓発を行いました。

⑤認知症普及啓発

認知症への理解を深め、次の行動につなげる映画「オレンジランプ」の上映会を開催し、約80名の参加がありました。

事業名

1.1 重層的支援体制整備事業

事業内容及び成果

子ども・障がい・高齢・生活困窮など、既存の分野別支援体制では対応が困難な地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、市と共同で包括的かつ重層的な支援体制の構築に取り組みました。

区分		2025年度	2024年度
相談延べ件数（実人数）		91件（8人）	83件（3人）
内訳	電話	70件	56件
	訪問	7件	10件
	来所	13件	10件
	メール等	1件	7件
ケース検討会議		23件	11回
庁内連携会議・勉強会		5回	4回

【公 的 福 祉 事 業】

事業名	1 介護保険事業			
事業内容及び成果	(1) 訪問介護事業（ヘルパーステーションもとす）			
	在宅の介護保険要介護認定者の依頼を受けてホームヘルパー（訪問介護員）を派遣し、入浴・排泄・食事の介護や調理・洗濯・掃除等の生活援助、健康確認や介護方法などの生活に関する相談と助言を行いました。			
	区分		2025年度	2024年度
	利用者延べ人数	要介護認定者	270名	306名
		要支援認定者	133名	102名
	利用延べ回数	要介護認定者	3,558回	3,972回
		要支援認定者	717回	570回
	月平均利用者数	要介護認定者	23名	26名
		要支援認定者	11名	9名
	(2) 居宅介護支援事業（居宅介護支援センター）			
①居宅サービス計画書（ケアプラン）の作成				
介護保険要介護認定者やその家族の依頼を受けてケアマネージャー（介護支援専門員）が自宅を訪問し、心身の状況、生活環境等を勘案するとともに自立した日常生活を営むために必要なサービスが適切に利用できるよう居宅サービス計画書を作成しました。				
②介護予防サービス・支援計画書（介護予防プラン）の作成				
地域包括支援センターからの委託を受け、介護保険要支援認定者が自立した生活を継続し、要介護状態への進行を防ぐための介護予防サービス・支援計画書を作成しました。				
働く介護者からの相談に対応するため、24時間365日体制で在宅生活をサポートするとともに、地域包括支援センターや医療機関からの相談も積極的に受け入れ、契約者以外からの介護や介護保険制度などの相談にも柔軟に対応しました。				
区分		2025年度	2024年度	
ケアプラン作成延べ件数		1,924件	1,776件	
介護予防プラン作成延べ件数		164件	191件	
相談件数		95件	72件	
新規契約件数		69件	73件	
24時間対応件数		282件	454件	
事業名	2 地域包括支援センター事業			
事業内容及び成果	(1) 介護予防ケアマネジメント事業			
	①介護予防サービス・支援計画書（介護予防ケアマネジメントB）の作成			
65歳以上の高齢者が自身の心身機能や生活状況を把握し、生活機能の低下を早期に発見するための25項目の基本チェックリストで事業対象者と判定された人と介護保険要支援認定者のうち、本人の状態が比較的安定し、月1回のモニタリングなどを一部省略できる場合の介護予防サービス及び支援計画書を作成しました。				

区分	2025年度	2024年度
介護予防ケアマネジメントB	669件	734件

※ケアマネジメントB：要支援1・2認定者、事業対象者：本人状態が安定

②出前講座

地域のサロンや一般介護予防教室などへ職員が出向き、地域包括支援センターのPRや介護予防などの啓発活動に努めました。

区分	開催回数	参加延べ人数	講座テーマ				
			介護予防	認知症	消費被害	包括関係	その他
サロン	5回	83名	1回			4回	3回
老人クラブ	1回	26名			1回	1回	1回
民生委員	5回	100名		1回	5回	5回	1回
その他	9回	167名	3回	5回		8回	2回
計	20回	376名	4回	6回	6回	18回	7回

(2) 総合相談支援事業

①総合相談延べ件数

区分	本人	家族等	関係機関	地域団体	不明	計
電話	130件	493件	301件	34件	1件	959件
来所	104件	470件	94件	26件	1件	695件
訪問	181件	188件	16件	3件		388件
その他	3件	5件	1件	3件		12件
計	418件	1,156件	412件	66件	2件	2,054件

②相談内容別延べ件数

区分	2025年度	2024年度
介護保険制度に関する相談	2,122件	1,901件
総合事業に関する相談	86件	71件
福祉制度・サービスに関する相談	171件	141件
医療・健康等に関する相談	70件	75件
認知症に関する相談	176件	149件
安否確認に関する相談	21件	22件
権利擁護に関する相談	96件	64件
介護方法等に関する相談	18件	8件
生活全般に関する相談	336件	419件
介護者の離職に関する相談	2件	
ヤングケアラーに関する相談		2件
苦情相談	4件	5件
65歳未満の人に対する相談	52件	
その他	16件	11件
計	3,170件	2,868件

③対応内容別延べ件数

区分	2025年度	2024年度
情報提供	2, 197件	2050件
連絡調整	875件	728件
家庭訪問	310件	315件
ケース検討	17件	13件
申請（代行）	164件	160件
基本チェックリストの実施	24件	14件
その他	2件	4件
計	3, 589件	3, 284件

④根尾分庁舎出張相談

根尾地域の市民が相談しやすい体制として、根尾分庁舎へ週2回の出張相談日を設けており、年間相談件数135件のうち窓口対応は19件でした。

⑤福祉サービス情報紙

地域の福祉サービス情報をまとめた「くらしのあったか便利帳」を作成し、市内の福祉相談窓口や居宅介護支援事業所、民生委員・児童委員、ひとり暮らしの高齢者や支援を必要とする人などを対象に配布しました。

（3）権利擁護事業

①高齢者虐待

認知症への理解が乏しい家族などから受けた身体的・経済的虐待関連の相談が多く、認知症だけではなく経済状況や家族関係が大きく影響するケースもあり、市を中心とした各種関係機関と連携して対応しました。

②消費者被害

住宅の改修工事が始まってから不安となり、クーリングオフを希望する相談があり、市の消費生活相談窓口や弁護士と連携して対応しました。

③成年後見制度

認知症や精神疾患などで金銭管理ができないとの相談が年々増加し、成年後見制度利用の検討ケースも増加傾向であり、申立を支援したケースもありました。

区分	相談件数（実人数）
高齢者虐待	38件（18名）
消費者被害	7件（1名）
成年後見制度	52件（36名）

（4）包括的・継続的ケアマネジメント事業

①地域の介護支援専門員への個別支援

地域の介護支援専門員からの相談として、困難事例や高齢者虐待に関する案件が多くみられ、同行訪問や地域ケア会議につなげました。

区分	2025年度	2024年度
ケアマネに対する日常的な指導助言	113件	123件
同行訪問	1件	1件
サービス担当者会議の開催支援		
支援困難事例等への指導・助言	24件	17件
計	138件	141件

②市内の介護支援専門員勉強会

区分	内容	参加人数
5/15（木）	「地域福祉サービスの紹介」 講師：社会福祉協議会地域福祉課 「適切なケアマネジメント手法の基本」 講師：本巣市地域包括支援センター	22名
10/20（月）	「高齢者虐待の理解と対応」 講師：岐阜県高齢者権利擁護センター	20名
1/20（火）	「精神疾患を持った方への対応について」 講師：はやかわ訪問看護ステーション	20名

③地域ケア会議

自立支援に向けたケースでは、市内を南部（真正、糸貫）北部（本巣、根尾）に分けて月1回開催しました。また、困難ケースの場合は随時開催とし、即効性のある支援につなげることができました。

区分	開催回数	事例件数	参加延べ人数
自立支援	10回	10件	141名
困難ケース	6回	6件	51名
集中減算	4回	35件	19名
計	20回	51件	211名

（5）指定介護予防支援事業

介護保険要支援認定者が自立した生活を継続し、要介護状態への進行を防ぐための介護予防サービス・支援計画書（介護予防ケアプラン）を作成しました。

区分	2025年度	2024年度
介護予防給付	2,834件	2,788件
介護予防ケアマネジメントA	594件	586件

※予防給付：要支援1・2認定者：デイケア、訪問看護、福祉用具など利用

※ケアマネジメントA：要支援1・2認定者、訪問介護、通所介護のみ利用

事業名

3 障がい福祉事業

事業内容及び成果

（1）障がい者就労継続支援事業（B型）

自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練を行いました。

区分	年度末利用者数（3月）	当初利用者数（4月）
みつば	15名	10名
杉の子	17名	11名
ほたる	みつば、杉の子へ移籍済	11名

※障がい者就労支援センター「ほたる」は、市公共施設等総合管理計画と市個別施設計画に基づき、2026年3月末をもって閉鎖し「みつば、杉の子」へ統合しました。なお、「ほたる」利用者は閉鎖前の2月末をもって、「みつば、杉の子」へとそれぞれ移籍を済ませています。

企業からの請負作業では「杉の子」が増加傾向でしたが、「みつば、ほたる」

では大きな増減はありませんでした。一方、自主製品（菓子・布製品）の製造販売では、焼き菓子など新商品の開発や市役所本庁舎での定期展示販売（月２回）をはじめ、各種イベント・バザーへ積極的に参加したことにより、利用者工賃の増額を図ることができました。

区分	２０２５年度	２０２４年度
みつば	１５，１３５円	１４，５９３円
杉の子	１８，０８５円	１６，３７７円
ほたる	１６，６２６円	１６，８０６円
３施設平均	１６，６１５円	１５，９２５円

※利用者１人当たり平均工賃（月額）

（２）障がい者相談支援事業（障がい福祉サービス等の利用計画作成）

サービス等の利用計画の相談、計画書の作成などを行い、障がい者の自立した生活を支え、障がい者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に応じて、保護者・事業所等の協力を得ながら支援しました。

利用者数：４７名、利用計画書作成件数：延べ１１０件

（３）障害者居宅介護給付事業（ヘルパーステーションもとす）

障がい者が居宅での日常生活を営むことができるよう、自宅へホームヘルパーが訪問し、調理、身体の清潔保持などの介助や必要な支援を行いました。

区分		２０２５年度	２０２４年度
利用者延べ人数	地域生活支援事業	１２名	１２名
	障害者総合支援事業	２８名	３３名
利用延べ回数	地域生活支援事業	６１回	５８回
	障害者総合支援事業	７７回	１１９回
月平均利用者数	地域生活支援事業	１名	１名
	障害者総合支援事業	２名	３名

【指 定 管 理 事 業】

事業名	1 指定管理業務
事業内容及び成果	(1) 老人福祉センターの管理運営（真正、本巣老人福祉センター） 指定管理者として施設や設備など適正な管理運営に努めるとともに、高齢者の健康増進や文化活動のための場を提供しました。 ①真正老人福祉センター 月曜日から金曜日開館（祝日を除く） ・施設開館：242日（土日曜日及び祝日、年末年始を除く毎日） ・施設利用者数：延べ133名 ・施設修繕：消防設備、ろ過装置、蛍光灯 ・その他：年2回の避難訓練、消防訓練を実施し、火災が発生した場合での施設利用者の避難誘導方法などを確認しました。 ②本巣老人福祉センター 月曜日から金曜日開館（祝日を除く） ・施設開館：242日（土日曜日及び祝日、年末年始を除く毎日） ・施設利用者数：延べ2,588名 ・施設修繕：暖房便座 ・その他：年2回の避難訓練、消防訓練を実施し、火災や地震等が発生した場合での施設利用者の避難誘導方法などを確認しました。 (2) 糸貫ぬくもりの里の管理運営 指定管理者として施設や設備など適正な管理運営に努めるとともに、市民の健康づくりと高齢者に対する在宅福祉の充実を図るため、市民の地域福祉活動や文化活動の場を提供しました。 ・施設開館：268日（いきいきセンター：月曜日、年末年始を除く毎日、研修センター：土日祝日、年末年始を除く毎日） ・施設利用者数：延べ31,233名 ・施設修繕：床下漏水、トイレ水栓バルブ、エントランス電動ブラインド、空調設備修繕、移動観覧席通路灯、誘導灯 ・その他：年2回の避難訓練、消防訓練を実施し、火災や地震等が発生した場合での施設利用者の避難誘導方法などを確認しました。 (3) 障がい者就労支援センター（みつば、杉の子）の管理運営 指定管理者として施設や設備など適正な管理運営に努めるとともに、障がい者就労継続支援B型事業所の円滑な運営に努めました。また、「ほたる」の廃止（閉鎖）に伴い、利用者が安全安心に通所利用できるよう受け入れ体制や作業場の確保など環境整備を図りました。 ・施設修繕：「みつば」入口看板の張替え：「杉の子」間仕切り移設、LAN配線工事 ・その他：年2回の避難訓練、消防訓練を実施し、火災や地震等が発生した場合での施設利用者の避難誘導方法などを確認しました。